

2022年 9月16日



たてくるジオパーク

だより 第50号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
f https://facebook.com/tatekuro

立山黒部ジオパーク 第3期基本計画策定委員会 開催

2018年度から実施した立山黒部ジオパーク第2期基本計画も今年度が最終年度となりました。ジオパークの基本計画は持続可能な地域づくりのための基礎となる最重要なものとして位置づけています。

第2期の基本計画では「人材育成」「情報発信」「環境保全」「組織強化」の4点について重点的に取り組んできています。

この5年間の事業を踏まえて、来年度からの第3期基本計画に向けて8月より策定委員会が開催されています。

9月12日(月)には 第2回策定委員会が行われ、第2期における事業評価とともに、第3期における実施事業や重点項目について話し合われました。

内容的に重複する事業やほぼ達成されたと思われる事業を整理するとともに、これからの5年間を見据えた重点項目や新しい視点を取り入れた事業計画をどのようにするか話し合いが重ねられていきます。

今年度中に新しい基本計画案を決め、来年度の社員総会に諮り決議をいただきます。

<第3期基本計画策定委員>

- | | |
|-------------|--------------|
| 企画部会 | 飯田 肇・伊関 健太 |
| 研究教育部会 | 國香 正稔・金子 一夫 |
| ジオガイド人材育成部会 | |
| | 志村 幸光・大野 博美 |
| ツーリズム部会 | 佐伯 高男・丹保 俊哉 |
| 広報啓発部会 | 今井 喜義・毛利 義朗 |
| 保全部会 | 鍛冶 哲郎 |
| 外部から | |
| | (大学) 安江健一 |
| | (企業) 山本 健太郎 |
| | (オガザバー) 王生 透 |
| | 以上 14名 |

上市町稲村露頭 地質調査研究用掘削工事開始

研究教育部会による上市町稲村地区の露頭調査も、新しい段階を迎えています。

海底地すべりのスランプ構造の研究を進める秋田大学、地権者の有限会社英修興産(富山市)、立山黒部ジオパーク協会の3者で、8月初め掘削工事における覚書が取り交わされました。

工事作業の進め方について3者で共通理解を行い、有限会社きんた(上市町)による稲村地区地質調査に伴う準備作業委託業務が始まりました。

8月下旬より機材が現地に搬入され、露頭面に生えていた松等草木の伐採、露頭全面のドローン撮影等、着々と作業が進んでいます。地層面がきれいに露出したので、地層の重なりと広がりにより一層分かりやすくなりました。



予定通り10月初旬から秋田大学の研究チームが調査に入ります。

富山県ではなかなか見ることのできない地層の連続性が分かりやすく縞模様の美しい露頭です。教科書でしか見たことがないスケールであり、実際に地層に触れ、観察しやすい露頭なので、小学生から大学生までそれぞれの目的に合った良い学びの場になると期待が高まっています。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



☆第12回日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会

10月21日から3日間にわたり、第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会が開催されます。

前回の大会は、コロナ禍でハイブリッド開催でしたが、今年では現地開催で行われることになっています。

立山黒部ジオパークからは、口頭発表で「黒部市下立のオニックスマーブルを活用した保全と活用」、ポスター発表では4月に開催した「写真展」について皆さんにお知らせしようとして準備を進めています。

講演会、分科会等大会の様子は、一部 ZOOM で視聴（有料）することもできます。

詳しいことは、白山手取川大会のHP をご覧ください

<https://taikai.geopark.jp/2022/>



活動の様子

☆8/28 新規ジオガイド養成講座

3月から行われていた新規ジオガイド養成講座が、8月28日の実技試験をもって終了しました。

8月28日インテックビルで行われた実技試験は、飯田企画部会長、志村人材育成部会長、立山カルデラ砂防博物館の丹保学芸員、大野ジオガイド、今堀事務局長の5人の審査員によって行われました。



実技試験の様子

ジオガイドを目指して研修を積んでいらっしゃるみなさんは、一人5分間の時間の中、自分の好きな場所を写真で紹介しながら笑顔でガイドをされていました。

ジオガイドさんはジオパークの地形や地質と自然・文化生活などとの関りを紹介するお客様とのかけ橋です。ガイドさんが増えることは、ジオパークの財産が増えることです。

研鑽を積んで一層ステキなガイドさんとして活躍されることを期待しています。

チャレンジライドにいかわ 2022 コース決定

10月2日(日)開催のチャレンジライドにいかわ 2022 実行委員会によるコースがほぼ決まり、地図やパネルの作成を行っています。3年ぶりに開催されるコースは4つ。

- ①サイクリングコース 60・90Km
- ②ミドルコース 100Km
- ③ロングコース 130Km
- ④脚パンパンコース 160Km



どのコースも富山県東部立山黒部ジオパーク内を自転車で走りながら楽しむコース設定となっています。コース等の詳細とエントリーは上記のQRコードからご確認ください。



☆9/7 ガイドスキルアップ講座

9月7日(水)にサンシップとやまにて、富山県立山博物館元館長 米原 寛氏を講師に迎え、ジオガイドスキルアップ研修を行いました。

当日は、「越人と多知(たち)夜(や)麻(ま)、そのころとカタチ」というテーマで講演されました。スライドを使いながら、人々と立山信仰の関係や、「立山曼荼羅」にみられる心の世界などについてお話をされました。普段聴くことのできない話の数々に、参加したジオガイドからも今後のガイド活動の参考となる話を聴くことができたと感想をいただきました。



☆出前授業 富山大久保小・柳町小

<6月1日 富山市立大久保小学校 6年生>

6年生は総合的な学習の時間で立山について学習を進めています。7月の宿泊学習に向け、立山の「大地」「生き物」「文化」について、事前に調べたことや聞いたことを確かめるとともに新たな知識を得ることができました。

<6月21日 富山市立柳町小学校 4年生>

「富山市ふるさと学習一教えてあげよう、富山の宝物」の学習をしました。富山のすてきな宝物を紹介するために、自分たちが知っていることを基に、学習を進めました。また、富山の山・川・海の抱える問題についても学びました。続きは総合的な学習の時間で、子供たちが自分の関心のあるテーマに取り組みます。

*9月以降も富山市、上市町、立山町の小学校で理科やふるさと学習を行う予定です。自分の住む地域に興味や関心を高めるよい機会になるとよいと思います。

イベントのお知らせ

10/15 (土) ジオパーク散歩③ 入善

入善町の園家山キャンプ場砂浜の奥にある三角点。その三角点の意味するもの、入善町の豊かな湧水を皆さんで見に行きましょう

参加の仕方は以下の通り。ぜひご参加ください。



<タイトル>

「砂上の一等三角点」とはどんなところ？

<ガイド> 立山黒部ジオパーク協会登録ジオガイド
長谷川 憲二 (はせがわ けんじ) さん

<時間> 10:00 ~ 12:00 (受付 9:30)

<集合場所> 園家山キャンプ場駐車場

<日程> 下新川海岸→地下水の水位標柱・自噴水→一等三角点
本点→地下水水位観測井→駐車場

<対象> どなたでも

小学生以下は保護者同伴

<人数> 10人 (要申し込み先着順)

<参加費用> 300円

<申し込み> 立山黒部ジオパーク協会
TEL: 076-431-2089



10/1・16 フィールドウォッチング 立山カルデラ砂防博物館

立山にも秋の便りが聞こえてきました。紅葉シーズンも間もなく始まります。「立山カルデラ砂防博物館の学芸員と行くフィールドウォッチング」。10月は2回予定されています。イベントの詳細や募集要項については北陸探訪の各HP、右下QRコードからをご覧ください。



10月1日(土) 「弥陀ヶ原とカルデラ展望」

紅葉のベストシーズンを迎える弥陀ヶ原を散策しながら、地質・地形・動植物や立山カルデラについて観



弥陀ヶ原から立山カルデラ展望台へ。広々とした雄大な景色を堪能できます。装備を整えて楽しく安全に散策しましょう。

<https://hokuriku-tour.com/archives/tour/tg006>

10月16日(日) 「秋の称名滝と常願寺川砂防治水探訪」

立山連峰から流れ出る急流『常願寺川』の治水をテーマに、大転石や砂防施設等を巡ります。

“人と水との関わりの歴史”や雄大な自然の力をお楽しみください♪



大転石・本宮堰堤・常西合口用水等、常願寺川流域の治水の知恵と工夫を感じることができます。称名滝付近の紅葉も色つく頃です。

<https://hokuriku-tour.com/archives/tour/tg007>

10/1 (土) 「埋もれ木サミット」 魚津埋没林博物館

テーマ「地域のお宝？ただの枯れ木?? 埋没林の活用について考える」



日時・会場 2022年10月1日(土)
11:00 ~ 16:00

新川文化ホール小ホール

内容等 パネルディスカッション
13:30 ~ 16:00

参加無料 定員 130名 (要申し込み)

埋没林の観光活用を目的に始まった日本遺産への取り組み(三瓶小豆原埋没林)や、演劇やコンサートなど遺跡の埋没林の活用事例の紹介(富沢遺跡の埋没林)から、埋没林の地域づくりでの活用について意見交換します。また、魚津埋没林を活用した地域づくりの一例として、立山黒部ジオパークがバーチャルジオツアーを開催します。詳細と申し込みについては、埋没林博物館HP(WEBフォーム)をご覧ください。



https://www.city.uozu.toyama.jp/nekkoInd/news/index.html#R4_bfs

バーチャルジオツアー動画作成中です!

実はバーチャルジオツアーは初めてのチャレンジです。國香研究教育部長を総監督に、魚津のジオガイドさん、撮影や動画編集を担当していただけるたくさんの方々のご協力をいただき、撮影を進めています。

時空を超えた洞杉や埋没林の秘密を皆さんと一緒に楽しんでもらうため、普段見ることができない場面もドローン撮影で収録。当日はLIVEでガイドさんにお話を聞くこともできます。

ぜひ10月1日、埋もれ木サミットが開催される新川文化ホールへお越しください。



天気や電波、機材、ガイドさんの状況などに対応しつつ、より良いものへとトライを重ねる撮影の様子。皆さん頑張っています!



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



岩瀬の街並み

富山湾エリア

神通川河口に位置する港町の古い街並み

江戸時代中期から明治時代に全国の物流を担った北前船。東岩瀬は神通川の河口右岸に位置し、江戸時代、加賀藩領内新川米の積み出し港として栄えた港町です。

当時、加賀藩、大聖寺藩の参勤交代が通った旧北国浜街道の大町新川町通りは、北前船廻船問屋の豪商たちの家並みが軒を連ね、繁栄と歴史を感じることができます。江戸時代、御旅屋の一部であった旧森家土蔵群は現在商蔵として、酒屋、フレンチレストラン、ガラス工房、陶芸工房が入居し、岩瀬の新しい文化の発信拠点になっています。

2005年からの官民一体となった総合的な街づくりによって、明治期の建物の改修が行われた結果、歴史的でレトロな街並みが2018年5月日本遺産に登録されました。

富山港展望台からは、立山連峰や岩瀬の街並み、能登半島の風景を楽しむことができます。

- ・国指定重要文化財 H6年 ※北前船廻船問屋森家
- ・国指定登録有形文化財 H28年 ※北前船廻船問屋馬場家



岩瀬の街並みは、立山黒部ジオパークの文化サイトになっています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=102>



■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。

「百年に一度」の大仕事

※シフト、ガンリッ車から電気自動車へ、自動車業界では「100年に一度の大仕事」と言われています。当社は電気自動車向けにプリント基板に必要な部品を精密製造しており、この実用期に重要な役割を担っています。

KOJIN

株式会社 コージン
代表取締役 小柴 雅信

〒930-0304 富山県中新川郡上市町森尻5番地
TEL:076-473-3251/FAX:076-473-2692
<https://www.kojin.co.jp/>

営業品目：型射出成形、横型射出成形、金型設計、製作、順送プレス加工品、単発プレス加工品、各種試作品

企業の社会貢献の一環としてジオパーク協会に協力しています。

生きていく真ん中に、ぬくもりはある。

8 日本海ガス株式会社

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。特に、オンラインの事業や動画編集等について得意な方を探しています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。また、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。

<編集後記> 9月3日（土）魚津水族館フォーラムに参加してきました。初代魚津水族館は1913年に建設され、現在の水族館が3代目という日本で一番古い水族館です。フォーラムの中で、水族館サポーターになっている黒部市の小学生2人の発表がありました。それぞれが小さい時から海や魚、カエルに出会い、その不思議さや面白さに夢中になっていく過程で、より生物への興味を深めたり楽しい水族館をつくりたいと夢を語ったりする姿がステキでした。ジオパークでも子供たちの興味・関心を高める出前授業や体験活動を工夫することで、驚きや発見、夢を生き生きと語れる子供たちに出会える機会を増やしたいなと思いました。